

【JCCA 東北支部】 災害時応援協定締結の記事が掲載されました

協
建
宮
城
と

“無償”で復旧調査 災害時応援協定を締結

建設コンサルタント協会東北支部（藤島芳男支部長）と

宮城県は13日、大規模災害発生時の応援協力協定を締結した。県内で大規模災害が発生した場合、同支部が県の要請により公共土木施設などの被害状況調査を社会貢献活動として無償で行う。災害復旧にかかわる調査の実施などを無償で行うことを盛り込んだ協定が締結されるのは、全国で初めてという。

この日、県庁内で行われた調印式には、同協会側から藤島支部長を始めとする役員ら5人、県側は伊藤直司土木部長と同部の幹部職員5人が出席。藤島支部長と伊藤部長が協定書に調印したあと固く握手を交わし、有事における協力を誓い合った。

引き続きあいさつに立った伊藤部長は「確実に起こるで



握手する藤島支部長（左）と伊藤部長

あるう大地震に対し、組織力の強化が非常に重要だが、行政だけでは到底対応できない。高度な技術力を持つ専門技術者集団と協定を締結すること、初動体制が強化されることは心強く、迅速な災害復旧に結び付くと思う。今後

は実効性を高めるためにも、日ごろの訓練などでしっかりと備えていきたい」と、大きな期待を寄せた。

これを受けて藤島支部長は「社会貢献活動として、各種フォーラムや講演会の開催、委員会への参加、技術者研修への講師派遣などを行っているが、災害支援はその中でも最大のテーマと位置付けている。宮城県沖地震の発生が想定されている中、県民の安全・安心を最優先に考えながら協会の役割を果たせるよう、（災害発生後の）早期復旧に全力を注ぎたい」と語った。